

# 笑 顔

☆まあいじかん☆

篠山東中学校 3年1組学級通信

第 60 号

2018(平成30)年11月20日発行

発行者 松田 淳二

## 人権教室を終えて

11月15日(木)に生徒会主催の人権教室を実施しました。篠山市・丹波市から人権擁護委員さん11名を迎え全校生の縦割り班をつくり、人権を視点として、学校愛について考えました。メインテーマ『全校生の人権を守る学校』をもとにして、その学校をつくっていくためにAグループ「出会った人にあいさつができる学校」、Bグループ「悪口や陰口のない学校」、Cグループ「相手の良いところを見つけあえる学校」に分かれて、分科会をしました。生徒会役員は、この準備を実は夏休みからしてきていました。どのような形式で、どういう内容を、どんな風にして、どう話し合えばいいのかということは何回も何回も意見を交流しながら、より良い方向に考え、進めあってきた企画でした。当日は、司会進行ということで、1時間、みんなの前で授業をする形になっていました。その授業をするにあたって、学校だけでなく家でも何回も場面を想定してシナリオを書いたり、練習をしたりしてきた人権教室でした。

当日、生徒会役員はかなりの不安を持ちながら、5時間目の授業に参加し、6時間目をむかえました。私は、全体の様子を見るためにすべての教室を行き来しました。各教室には、それまでの不安を感じさせない生徒会役員の一生懸命な姿がありました。それは、準備をしてきたことを出し切ろうという思いもありましたが、3年生が生徒会役員とともに人権教室を成功させようとする雰囲気が生徒会役員に伝わったのだと思います。授業は予定通り進行されました。その陰には、3年生が1,2年生をしっかりとリードして、話し合いをスムーズにすることができたからです。班のまとめやグループのまとめなどで意見を言っている3年生も多くみられました。ああいう場で自分の意見が言える3年生、全体のこととして考え話をまとめられる3年生、みんなのために動ける3年生を誇りに思います。素晴らしいがんばりでした。温かい雰囲気の中で、全校生が真剣に考え、それぞれのグループで提言をつくり、全体会で確認することができました。その提言については、生徒会から新聞や朝会でまた連絡があると思いますので、話し合ったあとの言動を意識しながら、全校生の人権を守る学校に向けて、学校愛を深めていこう。みんなで本当によく頑張りました。素晴らしい人権教室でした。最後に、人権擁護委員さんの感想を載せますので読んでください。



○初めての人権教室と思えないほど、子どもたちの討議が活発で自発的でした。特に3年生のリーダーシップが見事でした。1年生も趣旨を理解して会に臨み、発言する姿は素晴らしかったです。こういう全校生で人権や学校生活を良くする取り組みを続けることでこの学校の校風となり、市内へ発信できる学校となると思います。この取り組みを新聞社等を通じて地域社会に広げることが大事です。校区に住む一人として、誇りに思います。これをスタートにがんばってください。人権の視点として、あいさつを人権問題に結びつけ人間関係を築き孤立した友だちをなくすことに気づけたのは素晴らしいです。ありがとうございました。



○人権教室について、自分のこととして真剣に取り組んでいる姿勢に感動しました。このままの気持ちを持ち続けて大人になってほしいと思いました。こちらが子どもたちに教えてもらった思いです。本当にありがとうございました。



○ありがとうございました。自分の言葉で言えることに、人権をお互いに大切にしているのだと思いました。今後、思い通りに行かないことにあい、くじけそうになっても考え合い、人に相談し乗り越えていけるのだと思いました。



○素晴らしい環境の中で素直にまっすぐ育っている子どもたちに接して感動するばかりでした。この場を共有できたことに感謝。本当にありがとうございました。



○学年の違いを感じさせないグループ討議ができており感心しました。時間に余裕を持つという提言を聴き、どうということかと思ったのですが、ノーチャイムで行動しているということを聞き、納得しました。限られた時間に充実した話し合いができ、勉強させていただきました。

○ノーチャイムの学校を初めて参観させていただき、感心しました。

○生徒さんの態度にすっかり気持ちよくなりました。

みんなの温かさや優しさが人権擁護委員さんに伝わっていてとてもうれしく思いました。自分たちの手で創り上げているこの学校を更に良くしながらまた生活していこう。みんなならできる。





